

京都市の今後の住宅政策を考えるに当たって重要な論点について

諮問①『新たな住宅マスタープランの策定に向けた住宅政策の基本的な考え方について』

テーマ		検討課題	審議会、 小委員会
①-1	京都らしい住宅ストックの形成に向けて	○材料、工法、設備など技術的視点だけでは、京都らしい良質なストック形成が実現していないことをどう解決するか ○一般の住宅地における今後の景観形成（景観創造）のあり方 ○地域産木材の活用など、住宅生産における地産地消のシステムのあり方	審議会本会
①-2 (ア)	分譲マンション対策について	○分譲マンションの維持管理のあり方 ○分譲マンションの更新への対応 ○住宅戸数が充足した今、分譲マンションという形態の公共性、社会性の再検証	分譲マンション小委員会
①-2 (イ)	住宅ストックの流通をどう考えるか	○中古住宅の流通活性化が進んでいない	市場小委員会
①-2 (ウ)	都心部に多く見られる木造住宅をどう考えるか	○木造住宅の課題の検証 ○良好なコミュニティが形成されていることが多い袋路等の長屋について、住宅としての活用促進のあり方 ○密集市街地、袋路に立地する木造住宅の課題 ○老朽木造住宅の分類による対応のあり方	
①-2 (エ)	郊外型の住宅ストックをどう考えるか	○高度経済成長期における郊外型住宅ストックの良質化の方策 ○ニュータウン等における高齢化への対応のあり方	